



健康かごしま21普及推進会議
～日本健康会議in鹿児島～
**県内企業の健康づくり
の取組**

2024年11月27日（水）





企業紹介

マルイ農協グループのご紹介

マルイ農協の始まりは、1939年に8人の情熱的な養鶏農家で設立された、西出水養鶏組合です。

それが1957年に出水養鶏農協となり、1984年にCIを実施し、マルイ農協と呼称を変え、今日にいたっています。

<社是>

心に豊かさを 未来に夢を

<理念>

トリの応用でメリットをつくり社会に奉仕する

<コーポレートステートメント>

ふるさとの味と心でおつきあい

事業内容

マルイ農協グループは、全国有数の養鶏専門農協であるマルイ農協を母体に、鶏卵・鶏肉の生産処理・加工、飼料・ひなの生産、そして販売のすべてを自前で事業展開しています。



シンボルマーク

マルイ農協グループのシンボルマークは、「O」は、「卵」と共に「太陽」と「和」を意味し、しなやかなふくらみを持たせた「I」は、出水の「イ」であり、協同の「人」をも表し、また、大地に根を張るように躍動する「脚」をデザインしたものです。





マルイグループの商品

マルイのたまご



マルイの輪(白) 10個入
(定重量パック)



マルイの輪(白) 6個入
(定重量パック)



ふるさといろいろパック
(定重量パック)



ふるさとたまご
(サイズ毎パック卵)



ビタミン強化卵



マルイの輪(赤) 10個入
(定重量パック)



南国元気鶏ラインアップ



若鶏もも肉 200g 要冷蔵



若鶏むね肉 250g 要冷蔵



若鶏筋切りササミ 200g 要冷蔵



若鶏もも肉切り身(小詰め) 300g 要冷蔵



若鶏ミンチ 500g 要冷蔵



若鶏手羽中ハーフ 300g 要冷蔵

食卓と笑顔のまん中に



チキン南蛮



国産若鶏むね肉揚げ



国産チキンのナゲット



国産若鶏と野菜の人参焼



若鶏レバーうま煮



若鶏と大葉のささみカツレツ



チーズと大葉のプチササミフライ



若鶏のチーズと大葉巻



レンジでチキンスサミフライ(チーズ入)

※画面参照：マルイ農協グループホームページより



マルイ運輸について

概要

設立	1967年1月21日
所在地	鹿児島県出水市米ノ津町56-69 [Google map]
代表者	代表取締役会長 高松 信吾 代表取締役社長 梶 操
資本金	90,000千円
株主	● マルイ農協 ● マルイ農協グループ各社
年間売上	約58億円 (2023年度)
従業員数	247名 (2024年2月末)
事業内容	<ul style="list-style-type: none"> ● 一般貨物運送事業 ● 貨物取扱事業 ● 倉庫業 ● 損害保険代理業 ● 生命保険代理業 ● 自動車販売・修理 ● 車検・整備 ● 石油類・LPガス・電気販売 ● ガス器具・家電及び各種雑貨の販売
車両台数	99台
営業所	関西営業所、九州営業所
施設	<ul style="list-style-type: none"> ● マルイふれあいS.S (出水市) ● ふれあい整備工場 (出水市) ● 民間車検センター、物流倉庫 (出水市) ● 冷蔵冷凍倉庫 (北九州市、大阪市)



マルイ運輸本社



黄色いヒヨコのマークが目印のマルイのトラック

※画面参照：マルイ農協グループホームページより



健康企業宣言・健康経営優良法人

健康企業宣言

当社は、 全国健康保険協会 鹿児島支部 の健康企業宣言に登録し、社員一丸となって下記健康づくりに取り組むことを宣言しています。

<input checked="" type="checkbox"/> 全従業員が健診を受診します	<input checked="" type="checkbox"/> 健診受診後の特定保健指導を受けます	<input checked="" type="checkbox"/> 職場の健康づくりに取り組みます
---	---	---

さらに **従業員が心身ともに元気に笑顔で働ける安全な事業所を目指し「健康経営」に取り組みます**
上記項目に取り組めます！

平成30年6月19日

マルイ運輸 株式会社
健康宣言責任者 花本 浩幸

2024
健康経営優良法人
Health and productivity

認定証

(中小規模法人部門)

法人名 **マルイ運輸株式会社**

貴法人は、従業員の健康管理を経営的な視点で考え、戦略的に実践する「健康経営」の取組が優良であると認められました
よって、ここに「健康経営優良法人2024 (中小規模法人部門)」として認定します
経済産業省及び厚生労働省と共に、今後一層取組を推進されることを期待いたします

2024年3月11日

日本健康会議

日本健康会議
NIPPON KENKO KAIGI

24127810



健康企業宣言にいたる「背景と経緯」

< 会社理念 >

- ・ 企業の持続的発展
- ・ 従業員の満足度の向上
- ・ 働きやすい、働きたい職場の実現



- ・ 健康かつ安全な組織風土の確立
を
目指し、健康にフォーカスを
あてた活動をおこなう



取組みのきっかけ

- ①「健康経営セミナー」の案内と受講 2017年10月（鹿児島市内）



会社理念の実現に有効では？と判断

協会けんぽ 鹿児島支部様に取組み開始のご相談をし、丁寧に
ご指導いただきました

- ②翌年の健康宣言開始にむけて、社内準備開始

- ・職場の健康環境をチェックする
- ・健康を心がける、食習慣・運動習慣の改善など宣言前の事前周知



2018年6月宣言



宣言後の取組み

1、定期健康診断結果に基づく2次勧奨（要治療・要精密検査対象者）

< 勧奨方法 >

- ①定期健康診断結果から「要治療・要精密検査」対象者を抽出
- ②案内文書を作成
- ③所属長を通じ対象者に案内
 - ※案内文書と診断結果コピーを同封
- ④個人負担にて受診実施
 - ※未受診の従業員にはご家族にもお手紙にて案内

< 案内文書 例 >

2024年〇月〇日

〇〇 〇〇様、

マルイ運輸株式会社
〇〇課
課長 〇〇 〇〇

定期健康診断結果による「2次健診受診」のお願い

日々の業務おつかれさまです。

さて令和6年〇月〇日に受診された健康診断の結果、あなたに「要精密検査・要治療」の項目があります。（項目については、健康診断結果を確認ください）

健康保持のため大変重要なことですので、健康診断個人票持参のうえ、病院を受診してください。

なお、会社は雇用する従業員の健康状態を把握する責務がありますので、受診された方は、下記「病院証明欄」に証明を受けていただき、速やかに会社へ提出をお願いします。

何らかの理由によりどうしても受診できない場合は、担当者へご相談ください。

病院証明欄

1 健康診断結果に基づく、要精密検査・要治療項目について受診済み（および治療完了）
⇒ ・就労問題なし ・何らかの記載要（ ） ・就労不可

2 健康診断結果に基づく、要精密検査・要治療項目について受診し治療中の場合
⇒ ・就労問題なし ・何らかの記載要（ ） ・就労不可

3 その他（ ）

2024年 月 日

病院名 _____

医師名 _____ 章



< 労災2次健診結果 >

(受診者用)

二次健康診断等の受診結果

受診者のシメイ(カタ)

受診者の生年月日
3次受診
430130
7次受診
051030

事業名	マルイ運輸株式会社		
事業場	鹿児島	町	水
二次健康診断結果	空腹時血糖質検査 左欄が「1」の場合、当該検査を行っております。	LDLコレステロール (mg/dl) HDLコレステロール (mg/dl) 中性脂肪 (mg/dl)	166 89.6 62
	空腹時血糖値検査 左欄が「1」の場合、当該検査を行っております。	血糖値 (mg/dl)	103
	ヘモグロビンA1c 検査 左欄が「3」の場合、当該検査を行っております。	ヘモグロビンA1c 検査 (%)	
断	心臓心電図検査又は胸部超音波検査(心エコー検査) 左欄が「1」の上と心電図検査を、「3」の上と胸部超音波検査を行っております。	医師の所見	異常なし
果	頸動脈超音波検査(頸部エコー検査) 左欄が「1」の場合、当該検査を行っております。	医師の所見	左頸動脈・右頸動脈の分岐部にて、 ① 軽度動脈硬化 ② 右頸動脈の軽度狭窄
	尿酸アルブミン尿検査 左欄が「3」の場合、当該検査を行っております。	尿酸アルブミン尿検査	- ± + ++ +++
	特定保健指導 左欄が「1」の場合、特定保健指導を行っております。	医師の所見	頸動脈エコーにて、軽度動脈硬化の 指摘が望ましい。
二次健康診断等の結果における医師の所見			
田中 昭行 が 指導が望ましい。			
肥満、脂質異常症、高血圧の所見があり、 体重を減らすように、減塩に努めるように 栄養指導をした。			
氏名	田中 昭行		
署名	田中 昭行		

①心エコー
・血流の異常
・心臓弁の異常

②頸部エコー
・動脈硬化
・血管壁の厚さと血管の内側の状態
(プラーク、血栓など)

③特定保健指導
・生活習慣の改善のための保健指導

④医師の所見
・所見を基に、乗務員の場合は必要に応じて「脳ドック・心臓ドック」を受診



3、脳ドック・心臓ドックの受診

- ①目的：運転者の「健康起因事故」の防止
背景として、道路貨物運送業の脳・心臓疾患による、労災発生率は全業種の約10倍
- ②対象者：乗務員で「労災2次健診」の受診結果で更なる健診・検査及び治療の開始を求められた者
- ③受診病院：会社が指定した検査機関・病院
- ④受診費用：全額会社負担



4、その他の取組

①特定保健指導

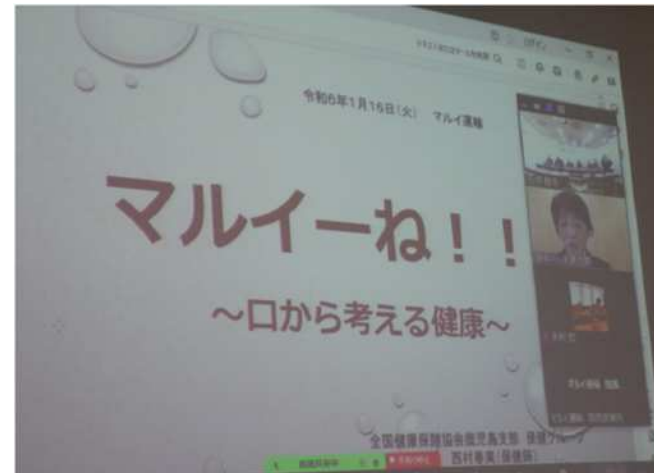
- ・ 対象者：生活習慣病の発症リスクが高い者
- ・ 面談者：協会けんぽより保健師の先生が事務所まで来訪
いただいています
- ・ 対象者抽出方法：生活習慣病予防健診受診者
定期健康診断データも協会けんぽに提供
2022年より、検診機関からの「事業者健診
データの取得」に同意
- ・ 指導の水平展開：営業所所在の福岡県、大阪府の協会けんぽ
と連携しそれぞれの事務所で保健指導実施



②健康講話の開催

- ・年1回のペースで協会けんぽより講師をお招きし開催
- ・2021年は、感染症予防で開催を見送ったが、2022年からZOOMを活用し再開

< 2024年1月開催 ZOOM開催 >





③感染症予防

- ・インフルエンザワクチン接種の全額会社負担
- ・入社時の体温測定 of 継続（37.5℃以上の者は受診勧奨）
- ・室内の換気の継続

④禁煙外来受診助成

- ・対象：禁煙外来受診を希望する従業員
- ・助成内容：受診前の事前申請により、自己負担額の全額を会社負担

⑤長時間労働対策

- ・時間外・休日出勤80時間超の従業員は、所属長もしくは衛生管理者が面談実施
- ・業務内容の聞き取り・改善、「食欲」「睡眠」「頭痛の有無」等の体調とともに、「疲労・ストレス蓄積度のチェック」を実施
- ・医師の面談指導の申込希望の有無も確認し、記録



今後の取組（予定含む）

①高血圧者対策

- ・高血圧所見者への個人面談による受診勧奨
- ・乗務員の運転開始前の血圧測定記録及び乗車判断の実施
- ・高リスク者の業務中の経時リスク管理（ウェアラブル端末の活用）

②婦人科がん検診等の助成開始

- ・対象健診：乳がん検診、子宮頸がん検診、骨粗しょう症検診
- ・助成内容：生活習慣病予防健診及び居住自治体で行われる健診の上記検診分自己負担額を**全額会社負担**
- ・助成方法：受診前に会社に申請実施
レシート等金額がわかる資料の提出をもって助成



③ストレス対策

- ・ ストレスチェックの結果、高ストレスと判断された部署を抽出
- ・ 産業保健総合支援センターから紹介を受けた外部委託先とコンサルティング契約を締結
- ・ 改善提案を受けるとともに所属従業員全員（約50名）との個人面談を実施しストレス要因の把握を図る



ご清聴
有難うございました

 **マルイ運輸**
品質・安全管理課

